

策定県民会議委員から県民の皆さんへのコメント

今回のパブリックコメントの実施にあたり、「大分県新長期総合計画策定県民会議」の委員の方々から、特に注目して欲しい点などについて、コメントをいただきました。

【全般】

○長期ビジョンに沿って具体的施策を継続的に実行することで、長い目で見れば大分県は着実に進化しています。主役である県民の多様な意見を反映することで、10年後の大分を確実に変えることができます。

○県民のみなさん！このパブリックコメントという貴重な機会を活かして、自分の想いをしっかり発信してください。大分の未来を創るにあたって、みなさんの力は欠かせないのでから。

【安心】

(子育て)

○大分県が直面している少子高齢化を考えると、「子育てしやすさ」が大切だと思っています。子育て満足度日本一では、子育てしやすさ日本一も実現する実効性ある施策に期待します。

○子どもは地域の活力なので、子どもを生み、育てることについて気持ちよく受入れ、支援していけるような社会となっていくよう期待します。

(健康)

○健康に生きてこそその幸福といえます。県民総ぐるみの健康づくりを推進し、生活習慣病や介護予防に重点を置き、今後10年間で全国1位の健康寿命県を目指そうという目標に大いに期待します。

(高齢者)

○高齢者の活躍を望む本県の「地域包括ケアシステム」の構築に向けては、高齢者からだけではなく、様々な観点からの意見を吸い上げたうえで、実現可能な具体的施策へと導く取組が期待されます。

(環境)

○自然や生物多様性の保全と地域資源の適正利用との両立のため、明確な目標（「愛知目標」）や戦略（生物多様性県戦略）のもとに、NPOなど地域に密着した主体との協働が推進されます。

(食育)

- 「おおいた食（ごはん）の日」を県民運動として、あらゆる分野と連携して進めることに期待します。

(地域社会)

- 無縁社会といわれ、孤独感が強まる地域社会において、人と人のつながりを再構築するために、実効性のある「ふれあいサロン」を今後10年間で現在の2倍、全ての自治会に設置するという目標は力強い。

(防災)

- これまで別々に活動していた組織（公的機関・民間・企業等）が連携、協働することを視野にワークショップや訓練を開催し、その中心を担う人材育成が戦略を持って計画的、継続的に行われることは、これまでの被災地の教訓からも必要な取り組みだと期待しています。

(移住・定住)

- U I Jターンのためのきめ細かな情報発信や支援、移住の受け皿となる仕事づくり、定住対策の促進および定住につながる空き家の利活用は重要な要素です。官民あげて県外からの移住者増加の施策に知恵を絞って邁進していきます。

【活力】

(農林水産業)

- ハイテクやマーケティングを利用した最新の農業から地域や環境にやさしい農業まで、幅広く網羅しています。
- 中山間地域での地域特性とそこでの多様な農林水産物を活かした地域ブランドの育成に期待します。

(商工業)

- 大分県に活力を作り出すには、地域に根付いた地場産業・ベンチャー企業を創出、活性化することが大切だと考えています。各施策が有機的に連携して効果を上げることを期待します。
- 芸術文化の創造による「創造県おおいた」への取り組みは、「クリエイティブ産業」創出への挑戦に直結するものです。地域の芸術文化とICTとの融合により、大分県に新しい産業を生み出そうという今回の試みは、今までの産業政策にはない極めて「尖った政策」として特筆すべきものであり、大いに期待しています。

(女性の活躍)

○人材の確保・育成とワーク・ライフ・バランスの推進、並びに女性の活躍推進は、密接に関係するものであり、一企業ではなし得ないものもあるので、県の積極的な関与を期待します。

(観光・ツーリズム)

○「おんせん県おおいた」で高めた認知度で観光素材の発掘と磨き、情報発信を続け、誘客の期待が見込めます。

(大分県ブランド力)

○大分県は観光振興や県産品の販路拡大という課題に対して、海・山・川等の豊かな自然、温暖な気候、温泉、農産物・海産物等の食材、歴史的文化遺産など、どの地域にも決して負けない優位性を有するにもかかわらず、それらを十分に他地域の人々に認知させているとは言いがたいです。今までの枠にとらわれないパンチの効いた「戦略的広報」を徹底させて大分県ブランドの向上に努めていきます。

(特徴ある地域づくり)

○地域の特徴に沿った地域づくりの提案がなされています。皆様の地域について考察してみてください。

【発展】

(教育)

○中学生の英語の学力全国1位を目指して欲しい。将来的な外国人観光客の誘客に多大な効果があると期待されます。

○大学等高等教育機関は、「知(地)の拠点」として地域社会への貢献が期待されています。大学等高等教育機関と積極的に連携し、地域の活性化などの課題解決に向けた取り組みを期待します。

(芸術文化・スポーツ)

○芸術文化やスポーツに触れる機会が増えることで、子どもからシニアまで、全ての県民が心身ともに健康かつ心豊かに暮らせる環境整備が進みます。

○ラグビーワールドカップや東京オリンピックの観戦、事前キャンプ誘致等スポーツツーリズムの推進が期待されます。

(交通)

○フェリー、バス、航空、鉄道の連携による利便性を高め、九州の東の玄関口としての高まりが期待されます。